

2 沿革と主な施設整備年表

京都大学大学院理学研究科附属天文台は花山天文台と飛驒天文台より構成されている。飛驒天文台は、世界第一級の高分解能をもつドームレス太陽望遠鏡、太陽磁場活動望遠鏡、東洋一のレンズをもつ65 cm 屈折望遠鏡などを用いて観測の最前線に立ち、花山天文台は、データ解析研究センターとしての役割を担うと共に、大学院・学部学生の観測研究実習及びデータ解析研究実習を実施している。

昭和4年10月	花山天文台設立
昭和16年7月	生駒山太陽観測所(奈良県生駒郡生駒山)設立
昭和33年4月	花山天文台及び生駒山太陽観測所を理学部附属天文台として官制化
昭和43年11月	飛驒天文台設立、管理棟・本館・60 cm 反射望遠鏡ドーム完工、60 cm 反射望遠鏡を花山天文台より移設、開所式挙行
昭和47年3月	生駒山太陽観測所閉鎖
昭和47年4月	飛驒天文台に、65 cm 屈折望遠鏡及び新館完成、竣工式挙行
昭和54年5月	飛驒天文台に、ドームレス太陽望遠鏡完成、竣工式挙行
昭和63年3月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡駆動コンピューター更新
平成3年3月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡塔体パネル一部修理工事完了 飛驒天文台15 m ドーム駆動装置更新工事完了
平成4年3月	飛驒天文台に、太陽フレア監視望遠鏡及びドーム完成
平成8年3月	花山天文台にデジタル専用回線導入
平成8年11月	飛驒天文台研究棟及び管理棟外壁等改修工事施工
平成9年3月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡に高分解能太陽磁場測定装置新設
平成10年10月	飛驒天文台専用道路に光ケーブル敷設工事施工 高速データ通信回線(384 Kbps)開通
平成11年3月	花山天文台18 cm 屈折望遠鏡に太陽H α 単色像デジタル撮影システム完成
平成11年11月	花山天文台デジタル専用回線を128 Kbpsから1.5 Mbpsに高速化 飛驒天文台研究棟・管理棟改修工事及び管理棟合併浄化槽敷設工事施工
平成12年9月	飛驒天文台デジタル通信回線を1.5 Mbpsに高速化、且つ専用回線に切替え
平成13年3月	飛驒天文台65 cm 屈折望遠鏡15 m ドームスリット等改修工事完了
平成14年3月	花山天文台建物等改修工事施工
平成15年3月	飛驒天文台に太陽活動総合観測システム新設
平成15年11月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡塔体冷却システム改修工事完了
平成18年3月	飛驒天文台にダークファイバーと岐阜情報スーパーハイウェイを利用した高速データ通信回線(100 Mbps)開通
平成18年8月	花山天文台にダークファイバー利用の高速データ通信回線(1 Gbps)開通
平成20年12月	飛驒天文台研究棟耐震補強工事施工
平成22年3月	フレア監視望遠鏡を飛驒天文台からイカ大学(ペルー)へ移設
平成25年1月	花山天文台が京都市の“京都を彩る建物や庭園”に選定される